

**メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称: 育ち盛り)  
～ブラジルの利上げについて～**

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

6月9日、ブラジル中央銀行は金融政策委員会(COPOM)において、事前の市場予想通り政策金利(SELICレート)を従来の9.50%から0.75%引き上げ、10.25%としました。今回の同中央銀行の利上げによって、4月28日に行われた前回の会合から、2回連続となりました。

**【ブラジル経済の現状について】**

ブラジル中央銀行は、今回の利上げについて、インフレ率を目標値に収束させるための措置であるとの声明を発表しています。

これまで景気刺激策として、2009年7月から政策金利を過去最低水準である8.75%に据え置いていましたが、景気過熱とインフレへの懸念から、4月の金融政策委員会において金融引き締めへ転換しました。今回の追加利上げを行ったことで、前回と合わせた利上げ幅は1.50%となりました。

ブラジルでは内需拡大に伴う経済成長によって、景気の過熱感は強まっており、2010年1-3月期の実質GDP成長率は前年同期比8.9%と15年ぶりの高水準となりました。インフレ動向に関しては、5月のIPCA(消費者物価指数)が前年同月比5.22%と4月の同5.26%から7ヶ月ぶりに低下したものの、同中央銀行のインフレ目標値である4.5%を5ヶ月間連続で上回る水準で推移しており、インフレ圧力が高まっております。

**【今後の運用方針について】**

鉱工業生産指数や小売売上高などの経済指標も、景気の過熱感を示唆しており、ブラジル中央銀行は今後も利上げを継続する可能性が高いと考えられます。また、同中央銀行は欧州諸国の債務問題が与えるグローバル経済への影響を考慮して政策を運営していくと考えられ、今後発表される金融政策委員会議事録内容が注目されます。

ブラジル債券については、利上げによる利回り曲線の平坦化によって、投資魅力が薄れていることからベンチマーク比低めの組入れに変更しております。

為替(ブラジル・レアル)については、今後も景気回復が見込まれ、上昇余地が高いと考えられることからベンチマーク比高めの組入れを行なって参ります。

スタンディッシュ社では、引き続き経済情勢や市場動向を注視して運用を行って参ります。

**(ご参考)**

2010年5月末時点におけるマザーファンドの組入れ比率

ブラジル債券:6.48% ブラジル・レアル:10.21%

(2010年5月末時点におけるベンチマーク※のブラジル組入比率:債券・通貨とも各10.0%)

※ベンチマークはJPモルガン GBI-EM Diversified 指数(ヘッジなし、円ベース)です。

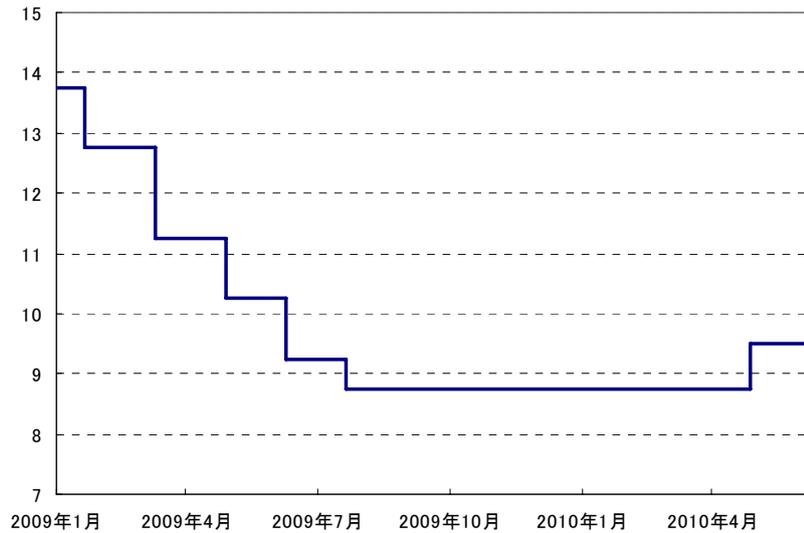
以上

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

【ご参考】

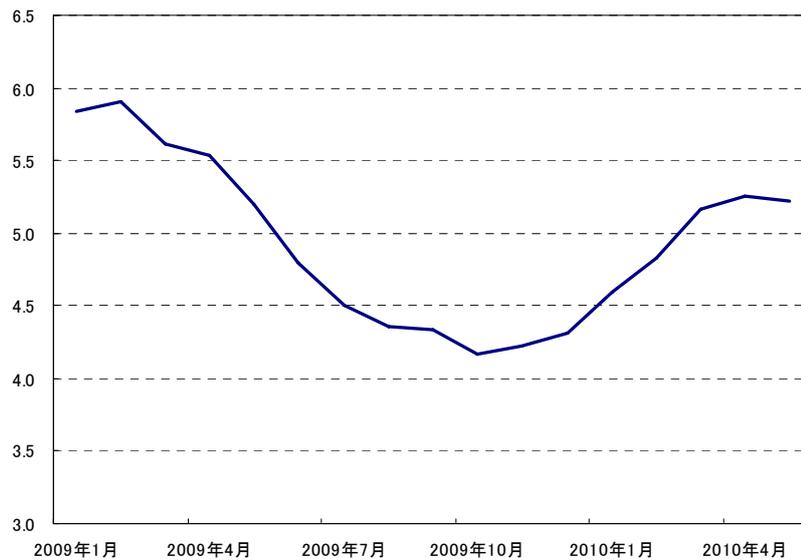
ブラジル:政策金利の推移(2009年1月1日~2010年6月10日)

(%)



ブラジル:IPCA(消費者物価指数)の推移(2009年1月~2010年5月)

(前年同月比、%)

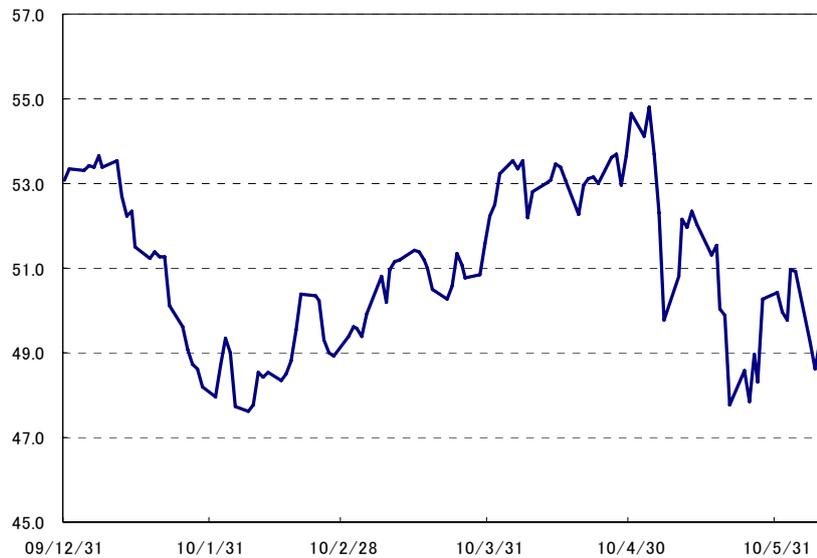


●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
 ●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

### ブラジル・レアルの推移

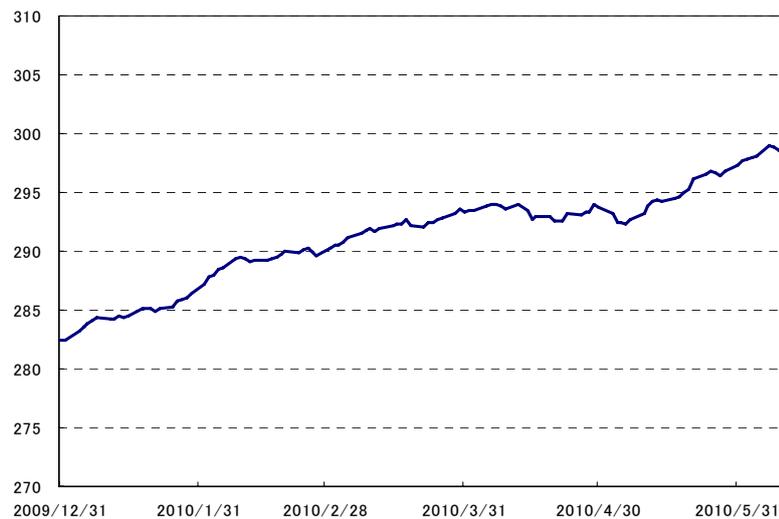
(2009年12月31日～2010年6月10日)

(ブラジル・レアル/円)



### JP モルガン GBI-EM ブラジル債券指数の推移

(2009年12月31日～2010年6月10日)



出所:ブルムバーグ

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

## ＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## ＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

- 設定・運用は

**BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社**

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会